令和元年度　第２回　鹿児島支部評議会の概要報告

開　催　日　時	令和元年７月 22 日（月）15：00～16：40
開　催　場　所	鹿児島中央ビルディング　会議室
出　席　議　員	伊藤議員＜議長＞、蔵元評議員、澤津川評議員、中村評議員、前田評議員、松元評議員（五十音順）
議　題	

1. 平成 30 年度決算の報告について
2. 支部保険者機能強化予算について
3. その他

議　事　概　要 （主な意見等）	

1. 平成 30 年度決算の報告について

（学識経験者）

・被保険者数の増加は健保組合が解散したことの影響が大きいのでは？

（事務局）

・その影響もあると思うが、実際は日本年金機構の適用拡大の影響が大きかったと考えられる。

（学識経験者）

・資料 3-2 の保険料率換算率は全国で 2 番目に高いとのことだったが、全国の支部でマイナスだったところは、割合的にどれくらいあったのか。

（事務局）

・詳しくお伝えはできないが、だいたい半分程がマイナス。

2. 支部保険者機能強化予算について

（事業主代表）

・Ｇｅ医薬品促進について、鹿児島は全国でも使用率が高い。薬剤師会と連携してとのことだが、このような広報活動をすることでより使用率がさらに上がると考えられているということか。

（事務局）

・まず使用率を落としたくない、引き続き使用していただきたいというのが前提であり、沖縄は使用率が高いので、その水準までは上げることが可能と思っている。
広報活動を行うことで、より使用率を上げたい。

（事業主代表）

・Ｇｅ医薬品を使用したい、と患者が自ら言うことは難しい。薬剤師会や薬局への協力（指

導する）を求めるほうが、一般的な広報より効果があるのでは。
（事務局）
・薬局の方が患者の方へ説明をしやすい、使いやすいような冊子を作る予定。

（事業主代表）
・事業者健診・特定健診の受診率の伸び悩みについて、骨密度等のオプショナル健診を充実させることで、増やそうとすると、今の予算では難しいのでは。どうお考えか。
（事務局）
・扶養者の健診率の伸び悩みについては、特定健診制度そのものが項目の制限があり、増やすための予算措置をとるには、厚労省との協議等が必要になってくる。骨密度についてもオプショナル健診として協議し、健診できるようになっている。
　がん検診は市町村で、行うことになっており、鹿児島支部では、市町村が実施している健診機関、協会けんぽの特定健診実施機関と協議を行っている。鹿児島市において、数会場でがん検診と特定健診を一緒に受けることができる内容をモデル的に実施する計画にしている。

（被保険者代表）
・H31 年度に実施する支部保険者機能強化予算における取組例にある、電車広告の実施等がやりやすいと思うが、どのようなことをされているのか。
（事務局）
・千葉の取組例にあるような電車広告については、昨年鹿児島支部でも、市電においてアナウンス等実施している。今年度実施する取組は 5.6.7 ページにある通り。

（被保険者代表）
・各県で様々な取組をしていると思うが、それぞれの成功例等は全国で共有されているのか。
（事務局）
・費用対効果も含めて、支部長会議や掲示板で情報共有を行っている。

（被保険者代表）
・集団健診会場の案内送付とはどういったものか
（事務局）
・健診を受ける場所は、生活習慣病予防健診実施機関で受ける方法と、健診車で受ける方法とある。
　市町村も同時に行っているので、市町村の会場と協会けんぽの会場を一覧にし、その地区の方たちに案内を行うというもの。

（学識経験者）
・鹿児島は長期入院が多いと聞くが、重症化している人が多いように思える。医療費の伸びを抑制するには、健診が大事と思われる。健診の充実等力を入れているのは分かるが、健診の必要性をもう少し訴えていくべきと思われる。それについてはどう考えているか。
（事務局）
・健診を受けてもらうのが一番であり、最近は、健康経営の考え方をもとに、事業主への周知普及、健診するだけでなく結果を知ってもらうことや、それに基づき生活習慣を変えてもらうような、周りの環境づくりも大事である。コラボヘルスとして事業主と一緒に取組を行っている。
　生活習慣病予防健診で受けた健診結果は協会けんぽに直接入ってくるが、事業主健診は事業主様からの同意書の提出等がなければ健診結果を取得することができない。そのため、社会保険労務士さんからも事業主様への働きかけをお願いする努力をしているところ。いただいたデータの中から、治療が必要な方を引き抜き、最低でも 2 回勧奨を行っている。他にも、保健師が事業所へ保健指導で出向いた際治療が必要な方には面談をし、勧奨を行っている。
　鹿児島県全体の受診率が低いため、市町村や健康保険組合等と保険者協議会等で受診率向上に向けて、連携した事業の取組を進めている。

（学識経験者）
・地域医療構想についてのアンケートの結果をもとに、どのような啓発のパンフレットを作成予定なのか。
（事務局）
・地域医療構想の会議が 8 か所開催されており、委員として 4 か所に参加している。保険者や医療従事者、行政機関の管理者が集まり、地域の医療体制や病床数を検討する会議。被保険者の方々がこういった会議が行われていること自体を理解しているか、知っているかどうかをまず把握したい。県でホームページ等において広報はしているが、より協会けんぽとして加入者の方にどういった会議でどのような話をしているかを伝えたい、そういったパンフレットになる予定。それにあたって、問題点を洗い出すために、アンケートを実施し、把握したうえで、啓発パンフレットを作成したい。

3. その他
・特になし

特　記　事　項
次回 10 月開催予定。